

事業所名

障がい児通所支援事業さわやか

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

16 日

法人（事業所）理念		身体・知的・精神の発達に課題があり支援が必要であっても、その子とその子らしく、持っている力を環境の中で活かし、出来る限り地域で当たり前の生活をし、楽しい毎日を送れるように支援します。									
支援方針		小集団の生活の中で、集団活動や個々の活動を通してその子の得意な所を伸ばしていく。又、苦手な所には適切な支援を行い、家庭や学校、他事業所と共有していくことで、安心した生活を送れるようにする。社会の中で生活できるように準備をしていく。									
営業時間（平日）		※休校日 8時半～18時	14 時	30 分	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※学校のみを送迎 ※現状の送迎状況によっては家族対応を依頼
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の確認、改善を家庭と連携しながら行う。個別の活動の中で、『指先の器用さ』や『生活スキルの練習』等を行う。生活の流れを確認し、見通しを持ってすることで、安心して生活を送れるようにする。（絵カード、写真等を用いる）									
	運動・感覚	運動の活動で、体を動かすことの楽しさや気持ちよさを味わったり、体のバランスや筋力向上を目指す。休校日や長期休みには、戸外で体を動かしたり、友達と球技をしたりと体を動かしていく。制作の活動を通して、『発送を形にしていこう』『制作活動の楽しさ』等を経験していく。又、好きな感覚・苦手な感覚を把握し、利用児に適した材料を用いて制作活動を楽しむ。									
	認知・行動	家庭、学校等の様子を踏まえ、事業所生活での行動の約束を視覚支援を用いて伝えていく。又、公共の施設の使用を経験し、約束の理解を深めていく。室内での行動や遊び方、捉え方を客観的に捉え、それぞれの生活の場での様子を共有し、利用児がより理解、把握しやすい生活環境を提供していく。									
	言語 コミュニケーション	利用児の発達段階や習得段階を把握する。活動や自由遊びの中で『言葉の理解』『語彙』に課題がある時には、助言をしたり適切な言葉を伝えていく。個別の活動の中で、ロールプレイを通して『どんな言葉で伝えたらいいの？』を学んでいく。自分の意見や経験を言葉にして小集団の中で伝えたり、質問したりする。									
	人間関係 社会性	利用児の遊び方、保護者との関わり方等を観察し、他児や身近な大人との関係形成でつまづきがないか確認する。又、他児との関わりの中で、『貸し借り』『順番』『待つ』等を支援員の介入がある中で経験し、小集団の中で安定した関係を形成できるように支援する。人との適切な距離感を伝えたり、異性との関わりについて個別に時間を取りながら伝えていく。									
家族支援		・利用児の様子の共有、相談 ・支援での協力要請 ・保護者の願いの実現と利用児の思いの仲介				移行支援		・学校への訪問、助言、相談、関わり方の統一 ・学校との支援会議 ・就学先や就労先との支援会議、利用児の様子の共有			
地域支援・地域連携		・公共の施設の利用 ・公共交通機関の利用 ・法人内外での演奏発表				職員の質の向上		・事業所内ミーティング ・事業所内外の研修、講習会への参加			
主な行事等		・じゃがいもの苗植え（4月頃）・サツマイモの苗植え（5月頃）・プール遊び（7～8月頃）・事業所内夏祭り（8月頃） ・ハロウィン（10月）・クリスマス、大掃除（12月）・初詣（1月）・豆まき（2月） ・避難訓練（年2回、児童発達支援と交互に実施）									